

事業所における児童発達支援自己評価表(公表)

2019年度期

事業所名：TAKUMI南千住（児童発達支援）

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	法令順守は勿論のこと、建築基準法に基づき用途変更を行い、十分なスペースを確保している。 運動の内容に合わせて、練習する・順番を待つ子供に分けて行うこともしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	配置加算を採用しているため、常時指導員は常に4名体制となっている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	建築基準法に基づき、行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるための P D C A サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	個別支援計画に基づき、日々の療育の前に指導員全員でミーティングを行い、終了後にも振り返りを行い、次回の療育に繋げる対策を行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者向けアンケートを12月に初めて実施し、評価の悪い項目については、今後計画的に改善を行っていく。 また、顧客満足度調査を今年度には実施し、業務改善に繋げていく予定。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表のけっかを踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を。事業所の会報やホームページ等で公開しているか	今回が初めてのアンケートとなる。HPの開設が準備出来次第、HPで公開をしていく
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在第三者による外部評価は行っていないが、今後も今のところ予定はなく、必要に応じ検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	外部研修に参加し、社内研修は日々の療育終了後に1日を振り返り、運動方法や創作方法についての反省点や疑問点をその日の内に改善、解決している。（これを主な社内研修としている。）
適切な	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	児発管と指導員が、子どもの様子と保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成したり、ローリングしたりしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	現在標準化されたアセスメントツールは存在しないため、今年度中には作成し、運用していく予定。（常にローリングは必要。）
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	児発管が支援内容を把握し、その上で支援計画を経ている
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	子どもの支援内容により、指導の内容を変更している
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	指導前後に児発管と指導員が話し合い、プログラムの立案を行っている。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	運動は子供の課題に合わせて内容を変更している。 創作は年間計画に則って子どもの様子を見ながら、必要に応じ変更している。

支援の提供	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	当事業所は個別クラスと集団クラスが設けられているため、契約時に適性を見極め各々のクラス設定を行い、子どもの成長度合いに応じ、クラス変更を見発管、指導員、保護者、子どもの意見を徴収し行っている。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援開始前に必ず毎日打ち合わせの時間を確保し、課題を書き出しミーティングの中で、支援方法や役割分担を行っている。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後に必ず毎日打ち合わせの時間を確保し、1日の振り返りミーティングの中で、気づいた点や改善点洗い出している。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	サービス提供記録へ記入し、更に独自の一日の情報をPCに子供の様子を記録し、検証している。
	⑲	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	契約後、6か月以内に定期的に保護者、見発管、指導員とミーティングを行い、計画の見直しの必要性を判断している。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	現在はサービス担当者会議に参加しておりませんが、各関係者を日程調整など行っており、今年度中には実施を検討。 開始当初は、見発管のみ参加する予定であるが、将来的には指導員の参加も検討していきたい。
	㉑	母子保護や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	まだ運営を開始し始めたばかりなので、今後必要に応じて連携をとっていく
関係機関や保護者との連携	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	当事業所には、医療ケアが必要な子どもは通所していない。今後通所する場合には、各関係機関と連携した支援が取れる体制を整えていく
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力機関等と連絡体制を整えているか	当事業所には、医療スタッフが存在しないことと、医療的ケアの必要なお子様が通所していないが、今後受けれる場合は、主治医との連絡体制は整えていく予定。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等の間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	現在は保護者からの情報のみで、情報共有はない。今後、必要に応じて情報共有が出来る体制を整えていく
	㉕	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容の情報共有と相互理解を図っているか	現在は保護者からの情報のみで、情報共有はない。今後、必要に応じて情報共有が出来る体制を整えていく
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	まだ運営を開始し始めたばかりなので、今後必要に応じて連携をとっていく。分からない事がある時には都度、見発管が必要に応じて専門の機関に連絡をし、内容を確認している。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等の交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在は限られた営業時間の中で実施するのは難しく実施していない。また保護者からも必要との声が聞こえてこないため、今後必要性を検討していく。
	㉘	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	現在は参加出来ていないが、後は参加出来るようにしていく
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	毎回の支援終了後に、保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識している。

	③⑩	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	現在は行っていない。今後、保護者からの要望や必要性に応じてペアレントトレーニングを行っていく
	③⑪	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明している程度であるが、支援の内容は様々な状況で詳しく説明している。保護者アンケートにおいても、当項目は全員が○と回答して頂いている。
保護者への説明責任等	③⑫	児童発達支援ガイドライン「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	契約時に支援内容の説明を行っている。6か月事に支援計画が変わる際には、再度保護者に説明を行い同意を得てサインを頂いている。
	③⑬	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	毎回、指導員や児発管が悩みを聞き出すように声掛けし、助言や支援を行っている。一人の判断で回答できなときは、スタッフ間でミーティングし回答するように心がけている。
	③⑭	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	現在、父母の会等の活動を支援することはしていない。今後は必要に応じて支援できる体制をとっていく。
	③⑮	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか、	活動後にフィードバックをしているので、その中で保護者から相談があった場合には答えるようにしている。内容により職員間で話し合いを行い、返答を行うこともある
	③⑯	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	会報等は発行していないが、行事に関しては教室内にポスター掲示、手紙を配布している。
	③⑰	個人情報に十分注意しているか	個人情報と思われる資料は、極力シュレッダーを掛けたり、カギ付き書庫の中に保管したりしている。PC等からの個人情報へのアクセスについては、まだ不十分な面があるため、今後必要に応じ検討していく予定。
	③⑱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	保護者の方には口頭での説明で理解して頂いています。子供には必要に応じて絵カードを使用し、説明を行っている。今後、状況に合わせて伝え方を検討していく
	③⑲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していく予定。
	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知とともに、発生を想定した訓練を実施しているか	左記マニュアル類はできているが、職員や保護者へ周知はできていない。2020年2月に防災訓練を活動内で実施を予定している。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2020年2月に防災訓練を活動内で実施を予定している。
	④③	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	入所時にフェイスシートに保護者に記入をして頂いている ただし、記入をしていない保護者もいるかもしれないので周知徹底していく

非常時等の対応	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	食事やおやつを提供する時間がないため、食物アレルギーの把握はしていない。今後、必要になった時には食物アレルギーの確認を行い、医師の指示書に基づき対応をとっていく。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	その都度記録し、毎日の振り返りで共有し、対策を打っている。
	④⑤	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	東京都主催の虐待防止の研修に参加し、参加者が講師となりスタッフに講習している。
	④⑥	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	事業所内に拘束を行う方針がないため未対応であるが、担当が研修に参加しているため、今後必要に応じ検討していく予定。

保護者等からの児童発達支援評価の集計結果(公表)

2019年度期

事業所名：TAKUMI南千住（児童発達支援）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	0	0	0	とても広く少人数で活動していただけるのでありがたいです。	利用人数を調整してスペースを確保しております
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	1	0	2	理学療法士がいると心強い	検討していきたいと思います。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	3	0	0	視覚優位の子供にもわかりやすい工夫がされていると思います	子供に合わせて子供用の台を用意しております
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11	1	0	0	玄関が狭い	全員が一緒に支度が重ならないように、順番に支度出来るように促していきます
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	11	1	0	0		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	3	0	3		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	1	0	1		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8	1	1	2	基本的にサーキット形式に固定化されている印象です	・お子様の課題に合わせ、プログラムを変更しております。 ・ルーティン化した方が活動に参加できるお子様には、同じプログラムを行う場合もあります
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	1	5	4		
保護	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	0	0	0		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	10	1	0	1		
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	3	5	1	今後行って頂けたら嬉しいです	今後の参考にさせていただきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	10	2	0	0	・毎回、活動後のフィードバックをして頂けて参考になります	活動後に保護者様とのフィードバックの時間を設けています。引き続き継続いたします。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	3	2	2	・まだ始まったばかりなので、これからかなと思います	6か月に1回の面談を計画。またそれ以外でも通所時に毎回活動後のフィードバックを行っております

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
者 へ の 説 明 等	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	7	2	・保護者同士の連携支援 まで行っていただく必要 ないかなと存じます	いつでも見学が可能となっ ており、活動中に保護者同 士が関われる場所となっ ています
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7	2	0	3	・子供の特性について相 談した際に、迅速に対応 して頂けて大変助かりま す	その場で対応を心がけてい るが、対応内容により職員 で話し合いをした後に返答 出来るよう心がけていま す
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	1	0	0		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3	2	2	5	・まだ入室したばかりな のでわからない	行事がある場合には口頭 での説明に加え、教室内に ポスター掲示や手紙を配 布しています 自己評価の結果は今回が 初めてですので、集計が 終わり次第、教室内に掲 示をいたします
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	12	0	0	0	・安心して通う事が出来 ています	・鍵付きの棚へ保管をし ています
非 常 時 等 の 対 応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	2	3	1	6	・まだ入室したばかりな のでわからない	2020年2月に実施予定 です
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	3	1	7	・まだ入室したばかりな のでわからない	2020年2月に実施予定 です
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	12	0	0	0	・とても楽しく通所して いますが、甘えが出てき ている（子供）など感じ る事が多いので、子供の 為にも時には厳しく指導 をして頂ければと思いま す	来所時のお子様の表情か ら、活動内容に十分に気 を付けております。 いつでもお子様が安心し て楽しく活動出来るよう に心掛けております
	23	事業所の支援に満足しているか	10	1	0	1	・自由なうちの子に先生 たちが至れり尽くせりし てくれて本当にありがた いなど感謝の気持ちで いっぱいです	保護者様とのコミュニケー ションを大切に、常に課 題に取り組める内容に 工夫をして参りたいと思 います

事業所における放課後等デイサービス自己評価表(公表)

2019年度期

事業所名：TAKUMI南千住（放課後等デイサービス）

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	法令順守は勿論のこと、建築基準法に基づき用途変更を行い、十分なスペースを確保している。 運動の内容に合わせて、練習する・順番を待つ子供に分けて行うこともしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	配置加算を採用しているので、常時指導員は常に4名体制となっている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	建築基準法に基づき、対応している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	個別支援計画に基づき、日々の療育の前に指導員全員でミーティングを行い、終了後にも振り返りを行い、次回の療育に繋げる対策を行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者向けアンケートを12月に初めて実施し、評価の悪い項目については、今後計画的に改善を行っていく。 また、顧客満足度調査を今年度には実施し、業務改善に繋げていく予定。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	今回が初めてのアンケートとなる。HPの開設が準備出来次第、HPで公開をしていく
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在第三者による外部評価は行っていないが、今後も今のところ予定はなく、必要に応じ検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	外部研修に参加し、社内研修は日々の療育終了後に1日を振り返り、運動方法や創作方法についての反省点や疑問点をその日の内に改善、解決している。（これを主な社内研修としている。）
適切な支援	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	児発管と指導員が、子どもの様子と保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成したり、ローリングしたりしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	現在標準化されたアセスメントツールは存在しないため、今年度中には作成し、運用していく予定。（常にローリングは必要。）
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	指導前後に児発管と指導員が話し合い、プログラムの立案を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	運動は子供の課題に合わせて内容を変更している。 創作は年間計画に則って子どもの様子を見ながら、必要に応じ変更している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	当事業所は、休日は定休日であり、長期休暇時もサービス提供は平日と特段変わりが無いため、基本同じ内容で実施している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	当事業所は個別クラスと集団クラスが設けられているため、契約時に適性を見極め各々のクラス設定を行い、子どもの成長度合いに応じ、クラス変更を児発管、指導員、保護者、子どもの意見を徴収し行っている。

の提供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援開始前に必ず毎日打ち合わせの時間を確保し、課題を書き出しミーティングの中で、支援方法や役割分担を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	支援終了後に必ず毎日打ち合わせの時間を確保し、1日の振り返りミーティングの中で、気づいた点や改善点洗い出している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	サービス提供記録へ記入し、更に独自の一日の情報をPCに子供の様子を記録し、検証している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	契約後、6か月以内に定期的に保護者、児発管、指導員とミーティングを行い、計画の見直しの必要性を判断している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	総則確認
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	現在はサービス担当者会議に参加しておりませんが、各関係者を日程調整など行っており、今年度中には実施を検討。 開始当初は、児発管のみ参加する予定であるが、将来的には指導員の参加も検討していきたい。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	当事業所は送迎がないこともあり、学校との情報共有は行っていない。その代わりに、保護者から間接的に学校情報をもらうことができる。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	当事業所には、医療スタッフが存在しないことと、医療的ケアの必要なお子様が通所していないが、今後受けれる場合は、主治医との連絡体制は整えていく予定。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	現在は就学前の各園との情報共有等は行っていないが、放課後等デイサービスや保険対象外の療育施設との情報共有や相互理解は要望があれば対応している。今後、必要に応じ検討していきたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	過去に放課後等デイサービスを卒業した児童はいないが、資料を提供できる体制は整っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	まだ運営を開始し始めたばかりなので、今後必要に応じて連携をとっていく。分からない事がある時には都度、児発管が必要に応じて専門の機関に連絡をし、内容を確認している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在は限られた営業時間の中で実施するのは難しく実施していない。また保護者からも必要との声が聞こえてこないため、今後必要性を検討していく。
㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	現在は参加出来ていないが、今後は参加出来るようにしていく	

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	毎回の支援終了後に、保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識している。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	現在は行っていない。今後、保護者からの要望や必要性に応じてペアレントトレーニングを行っていく
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明している程度であるが、支援の内容は様々な状況で詳しく説明している。保護者アンケートにおいても、当項目は全員が○と回答して頂けている。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	毎回、指導員や児発管が悩みを聞き出すように声掛けし、助言や支援を行っている。一人の判断で回答できなときは、スタッフ間でミーティングし回答するように心がけている。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	現在、父母の会等の活動を支援することはしていない。今後は必要に応じて支援できる体制をとっていく。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	今のところ、苦情を受けたことがない。ただし、お話をいただいた際には迅速に対応し、お答えをしていく。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	会報等は発行していないが、行事に関しては教室内にポスター掲示、手紙を配布している。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	個人情報と思われる資料は、極力シュレッダーを掛けたり、カギ付き書庫の中に保管したりしている。PC等からの個人情報へのアクセスについては、まだ不十分な面があるため、今後必要に応じ検討していく予定。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	保護者の方には口頭での説明で理解して頂けています。子供には必要に応じて絵カードを使用し、説明を行っている。今後、状況に合わせて伝え方を検討していく
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していく予定。
非常時	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	左記マニュアル類はできているが、職員や保護者へ周知はできていないため、今年度中に周知徹底していく予定。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2020年2月に防災訓練を活動内で実施予定。
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	東京都主催の虐待防止の研修に参加し、参加者が講師となりスタッフに講習している。

時 等 の 対 応	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	事業所内に拘束を行う方針がないため未対応であるが、担当が研修に参加しているため、今後必要に応じ検討していく予定。
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	食事やおやつを提供する時間がないため、食物アレルギーの把握はしていない。今後、必要になった時には食物アレルギーの確認を行い、医師の指示書に基づく対応をとっていく。
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	その都度記録し、毎日の振り返りで共有し、対策を打っている。

保護者等からの放課後等デイサービス評価の集計結果(公表)

2019年度期

事業所名：TAKUMI南千住（放課後等デイサービス）

	チェック項目	ご意見	ご意見を踏まえた	
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか		
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※iが作成されているか		
	5	活動プログラム※iiが固定化しないよう工夫されているか		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	・機会がなかったので分かりませ	現在の所は苦情を受けておりません。今後、お話を受けた際には迅速に対応をさせていただきます
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか		
非常時等の対応	14	個人情報に十分注意しているか		
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか		
満足度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		
	17	子どもは通所を楽しみにしているか		
	18	事業所の支援に満足しているか		